

# 学校法人 了徳寺学園 柔道部新聞

## -52 kg級角田 世界選手権出場 決定

### 志々目愛が角田夏実との激戦を制し悲願の初優勝

4月1・2日に福岡県福岡国際センターにて平成29年度全日本選抜体重別選手権大会が開催され、本学園からは男女合わせて5名の選手が出場しました。

この大会は8月28～9月3日にハンガリー・ブダペストで開催される世界柔道選手権大会の最終選考会でもあり、本学園柔道部としては昨年のリオデジャネイロオリンピック代表を輩出することができなかった無念を晴らし、代表の座を掴み取りたい大会でもあります。

結果は優勝者1名、準優勝者2名、3位1名となり、-52 kg級では志々目愛が角田夏実との同門対決を制して、悲願の初優勝を飾りました。

また、平成29年度全日本選抜体重別選手権大会終了後に行われた強化委員会にて2017年ブダペスト世界選手権大会の日本代表が協議され-52 kg級で角田夏実が代表として初選出されました。



#### 60kg級 志々目 徹 : 3位

志々目は初戦、林（日本エースサポート）と対戦しました。

序盤、組手争いでお互いになかなか自分の形になれず、両者に指導が与えられます。その後もお互い組手にこだわり、二度目の指導が両者に与えられます。そのまま4分が終了し、GSに突入します。GSに入ってからなかなか決めきるまでには至りませんが、志々目が徐々にペースを握り、5分が経過したところで相手に指導が宣告され、初戦を突破しました

準決勝戦は、永山（東海大学）と対戦し、序盤、お互い自分の形になれず、両者に指導が与えられます。その後、腰車に行ったところで、志々目に掛け逃げの指導が与えられます。そのまま勝負はGSに入り、1分が過ぎたところで小外刈にはまってしまい、連覇には届きませんでした。

なかなか自分の形になれず、持ち前の攻撃力を生かすことができませんでした。攻撃に組み立てに工夫を持たせて、次の試合ではリベンジしてもらいたいと思います。

1回戦	志々目 徹	○	GS 反則勝 (GS 指導 3)		林 (日本エースサポート)
準決勝	〃		GS 優勢負 (小外刈・技有)	○	永山 (東海大学)

### 78kg 級 緒方 亜香里 : 初戦敗退



緒方は初戦、濱田(自衛隊体育学校)と対戦しました。序盤、何度か技を受けてしまい、緒方に指導が与えられます。その後、内股で何度か投げそうになりますが、ポイントを奪うまでには至りません。勝負は GS に入り、内股に入ったところを股の中で回されてしまい、初戦で涙をのみました。惜しい場面もあり、十分ものにできた試合であっただけに、はやって掛けた内股が悔やまれます。しっかりと対策を講じて、16日の全日本選手権に向けて準備させたいと思います。

1回戦	緒方 亜香里		GS 優勢負 (内股透・技有)	○	濱田(自衛隊体育学校)
-----	--------	--	-----------------	---	-------------

### 81kg 級 渡邊 勇人 : 2位

渡辺は初戦、藤原(日体大)と対戦しました。序盤、少し守勢に回った渡辺に指導1が与えられます。

その後、なぜか渡辺に2度目の指導が与えられます。勝負はそのまま GS に入り、相手が背負投にきたところをそのまま腕挫十字固に極め、初戦を突破しました。

準決勝戦は佐藤(自衛隊体育学校)と対戦し、開始早々、巴投で大きく崩します。その後、渡辺らしい豪快な背負投で相手を畳に叩きつけ、会場を大いに盛り上げるに試合内容で、決勝に駒を進めました。

決勝ではリオデジャネイロオリンピック銅メダリスト永瀬(旭化成)と対戦しました。



お互いなかなか自分の形になれず、膠着状態が続きます。しかし3分過ぎた時に、お互い取れない引手であったものの、渡邊にのみ指導が与えられます。そのままGSに突入し、一瞬、相手の組手を許したところに内股で技ありを奪われ、初優勝にはあと一步届きませんでした。

膝の怪我で、厳しい状況での試合となりましたが、何とか決勝まで駒を進めることができました。怪我のケアと併せて、しっかりと対策を練り、次の試合でも渡邊らしい試合を期待したいと思います。

1回戦	渡邊 勇人	○	GS 一本勝 (腕挫十字固)		藤原(日体大)
準決勝	〃	○	一本勝 (背負投)		佐藤(自衛隊体育学校)
決勝	〃		GS 優勢負(技あり・内股)	○	永瀬(旭化成)

52 kg級 志々目 愛 : 優勝  
角田 夏実 : 2位



志々目は初戦、内尾真子(筑波大)と対戦しました。序盤から積極的に攻め込み、相手に指導が与えられます。再度相手に指導が与えられた後、試合はGSに突入します。その後も攻めのペースを変えず、相手に3度目の指導が与えられて、初戦を突破します。準決勝戦、志々目は阿部(夙川学院)と対戦し、序盤からお互い気合十分で対峙しますが、相手の形を許し、指導を2度受けます。しかし終盤に内股で技ありを奪い、これまでの雪辱を果たし、決勝に駒を進めました。

角田は初戦、前田(三井住友海上)と対戦し、開始1分過ぎに巴投で技ありを先取します。

その後も角田がペースを握り、相手に指導が与えられます。中盤には両者に指導が与えられます。その後も相手に反撃を許さず、準決勝進出を決めました。

準決勝戦、角田は立川(福岡大)と対戦し、序盤は膠着状態が続き、中盤に入って角田に対して袖口を絞っているとのことで指導が与えられます。その後、角田が攻め返し、相手にも指導が与えられます。勝負はそのままGSに突入します。GSに入って1分経過した頃に、得意の腕挫十字固を決めて決勝に駒を進めました。



決勝戦は志々目と角田との了徳寺学園同士の対戦となりました。お互い自分の形にこだわり、開始 30 秒、両者に指導が与えられます。その後、2分を過ぎたところで再度、両者に2度目の指導が与えられます。ここからお互いペースを上げ、攻め合いますが、ポイントを奪うまでには至らず、勝負はGSに突入します。ここで、志々目が組み際の大外刈で技ありを奪い、初優勝を果たしました。

志々目は初戦から気合の入った試合振りで、これまで敗れていた阿部、角田を下して念願の選抜初制覇を果たしました。

もともと投げる力は持っているので、新ルールは追い風だと思われます。今後の試合でも今日以上の気合いあふれる柔道を見せてほしいと思います。

角田は膝の怪我で十分な状態ではない中、自分の形を貫き、決勝に駒を進めました。決勝では同僚の志々目に敗れたものの、昨年からの快進撃を評価され、世界選手権代表に選ばれました。まずは怪我のケアをしっかりと行い、掴み取ったチャンスを生かせるよう、取り組んでいってほしいと思います。



1 回戦	志々目 愛	○	GS 反則勝(指導 3)		内尾(筑波大)
準決勝	〃	○	(内股・技有)		阿部(夙川学院)
決勝	〃	○	GS 優勢勝(大外刈:技有)		角田(了徳寺学園)

1 回戦	角田 夏実	○	優勢勝(巴投:技有)		内尾(筑波大)
準決勝	〃	○	GS 一本勝(腕挫十字固)		阿部(夙川学院)
決勝	〃		GS 優勢勝(大外刈:技有)	○	志々目(了徳寺学園)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★次回大会情報★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 第 32 回皇后杯 全日本女子柔道選手権大会

■期日:2017. 4. 16(日)

☆出場選手 緒方 亜香里

■時間:会場 11:00/開会 11:30

ヌンイラ 華蓮

■場所:横浜文化体育館

大会後の残り 3 枠の世界選手権代表が先行されます!

※JR 線関内駅下車 5 分

応援よろしくお願ひいたします!

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★